

「冬の声キャンプ」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
10組	15組 47名	13組 41名	13組41名 (子供19名、保護者22名) 福井県11組、滋賀県2組

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

- ・冬のフィールドでの外遊びを通して、冬の自然に親しみ、自然体験活動への関心意欲を高める。
- ・自然体験活動を通して、家族や参加者同士のコミュニケーションを図る機会にする。

◆期日・期間

令和2年2月8日（土）～2月9日（日）〈1泊2日〉

◆参加者分析

天候によっては出にくい冬の企画で、現地への集合や自然の家への移動を各家庭にお願いしていた状況にもかかわらず、定員を上回る応募をいただいた。チラシの配布については、福井県嶺南地域と滋賀県高島市としていたが、福井県嶺北地域や岐阜県からの応募もあった。

◆企画のポイント

〈日程〉

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
2月8日（土）			集合	・そり遊び ・スノーシュー等	親子別雪遊び 「雪と遊ぼう」 ・スノーシュー		「やらの湯」温泉	移動	夕食（食堂）	冬のお話 読み聞かせ	大浴場での入浴可	フリータイム	就寝
2月9日（日）	就寝	起床 洗面・着替え等	朝のつどい	朝食（食堂）	ハイキング準備 部屋清掃	※ふれあい山荘で 昼食	親子一緒に 冬山ハイキング 「冬山たんけん に出かけよう」	おわりのつどい アンケート記入					

寒い冬に外遊びをさせたいと考え、積雪があれば雪遊びを、積雪がなくても広いフィールドを活用して体を思い切り動かして遊びたいと考え、マキノ高原での活動を取り入れた。また、冬の若狭湾の自然歩道を歩くことで、冬の自然の様子も感じ取ってもらいたいと考え、今回のプログラムを立案した。

その中で、子供の自立を促し、また、子供同士がつながること、そして、保護者自身が自然体験活動を満喫してもらいたいというねらいから1日目の活動については親子別々の活動を行った。その分、2日目には親子で一緒に冬の自然歩道をハイキングする時間を設定し、冬の若狭湾の自然を味わってもらう機会にした。

◆運営のポイント

子供の対象を4歳児から小学2年生までの低年齢期に設定していることから、ゆとりのあるプログラム設定にした。

○安全上の注意

- ・子供の活動にはボランティアスタッフについてもらった。人数把握を常に行い、子供を一人で活動させないことを確認して活動を行った。
- ・マキノ高原でのけがの対応については、フローチャートを作成し、緊急時に対応できるようにした。

3. アンケート結果

(1) アンケート

<参加者>

項目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	83%	7%	0%	0%
事業全体の進め方はどうでしたか	63%	30%	7%	0%
マキノ高原での親子別活動はどうでしたか。	85%	15%	0%	0%
2日目のプログラムはどうでしたか。	55%	38%	7%	0%

<参加者の声>

- 風は冷たかったが、山の探検などはなかなかできないことなのでよかった。
- 久しぶりに子供と離れて活動できました。
- スノーシューが楽しかった。
- 疲れましたが楽しめました。
- 天候でハイキングの時間が短くなったが、体育館での活動も楽しかった。

- 子供の活動を見る時間があれば尚よかった。
- 雨ならこうなど、ある程度企画を決めておいた方がよいのではと感じました。
- 活動内容を事前にある程度知らせてほしかった。

4. 成果と課題

(1) 成果と考えられること

- 暖冬とはいえ、当日はかなり寒くなり、みぞれが降る状況でもあったので2日目の自然歩道を歩くことについては「大丈夫だろうか」と運営する者としては不安もあったが、ハイキングのコースが短くなったこと、予定が変更になったことを意外にも残念に思われるご家庭もあった。子供は寒くても外遊びを行う機会が多いと思うが、保護者にとっても外で活動することへのニーズがあることがよくわかった。
- 子供同士での活動では子供同士がすぐに仲良くなり、一緒に雪遊びを楽しむ様子があった。自然体験活動を通して、つながるきっかけを作ることのできた事業となった。

(2) 課題

- コミュニケーションを図るのであれば、活動プログラムの中に家族が交流できるレクリエーションを入れるなどして、もう少し交流する場の設定が必要だった。
- 今回は無事終了することができたが、マキノ高原での活動についての安全管理に関してはもう少し見直しが必要である。例えば、準備物として子供たちの人数把握のためにビブスを用意する、近くの診療所の確認など。
- 野外活動に慣れていない方や初めて若狭湾青少年自然の家を利用される参加者にとっては事前の情報が不足しており、不親切だったと反省する。スノーシューの紹介や若狭湾青少年自然の家の情報など事前に知らせておくと、より見通しを持って活動することができたのではないかと思う。

5. 活動の様子

【親子別活動】



【読み聞かせ】



【親子で活動】



